

Contrast EOP(エンタープライズオンプレミス)版のライセンスの更新

Contrast EOP 版のライセンスファイルを更新するには2つの方法があります。

スーパー管理者として Contrast UI にログインしてライセンスを更新する、または、ローカルのファイルシステム上でライセンスを置き換える方法のいずれかです。ライセンス期限が切れている場合は、ファイルシステムでの方法を使用して下さい。

方法 1 : Contrast UI を使用

- スーパー管理者の資格情報で Contrast UI にログインします。

例：

- ◆ URL : http://teamserver:8080/Contrast/static/ng/admin_index.html#/superadmin/signin
- ◆ ユーザ名 : contrast_superadmin@example.com
- ◆ パスワード : 最初に Contrast よりデフォルトのパスワードが提供されています(パスワードについては、御社のアカウント管理者やサポートにお問い合わせ下さい)。

- ユーザメニューより、**システムの設定**→**ライセンス**タブをクリックします。
- ライセンスを管理するページが表示されたら、ページの下部にある**このライセンスを更新**ボタンをクリックします。
- Hub の認証情報を入力し、Contrast が Hub から最新のライセンスをダウンロードし、ライセンスを適用できるようにします。Hub アカウントにアクセスできない場合は、**ライセンスのアップロード**リンクをクリックし、表示される入力フィールドにライセンスを貼り付けて下さい。

ライセンスを更新
HUBの認証情報を入力すれば、最新のライセンスファイルが取得できます。

<input type="text" value="ユーザ名"/>	<input type="text" value="パスワード"/>
<input type="button" value="更新"/>	HUBのアカウントをお持ちでないですか? ライセンスをアップロード

- 更新**ボタンをクリックすれば処理は完了です。
- 新しいライセンスの変更を適用するために Contrast を再起動します。

方法 2 : Contrast のファイルシステムを使用

- Hub から、もしくは御社のアカウント管理者やテクニカルサポートチームより新しいライセンスファイルを取得します。
- 新しいライセンスファイルの名前を `contrast.new.lic` に変更します。
- Contrast アプリケーションのサービスを停止します。
 - ◆ Windows の場合、サービス画面を使用します。
 - ◆ Linux の場合、`sudo service contrast-server stop` を実行する、またはお使いのディストリビューションに合わせて適切なコマンドを実行します。`ps aux | grep contrast` を実行し、Contrast アプリケーションのすべてのプロセスが停止し、実行中のプロセスが無いことを確認します。
MySQL が実行中であれば、サービスの停止後に MySQL 自体が終了するまでに数分かかる場合があります。終了しない場合はサポートに連絡して下さい。

注意 1 : 一部の Linux ディストリビューション(RHEL7.x および Ubuntu18.04 など)にて、`systemctl stop contrast-server` コマンドによるサービスの停止がタイムアウトとなり、`systemd` が混乱したままの状態になるという事象が発生する場合があります。この場合は、次の手順を実行してください。

- ① `ps aux | grep contrast` を実行して、`contrast-server` サービスのプロセス ID を確認します。
- ② Contrast アプリケーションサーバを実行する `java` プロセスと、場合によりデータベースを実行する `mysqld` プロセスが見つかります。Java のプロセスは、`kill -9 <PID>` (強制終了)を使用し、`mysqld` のプロセスには、`kill -15 <PID>` (トランザクション進行中の場合のデータ破損の可能性を回避)を使用して、各プロセスを終了してください。

注意 2 : 現在の `contrast.lic` ファイルは移動しないでください。Contrast では、ライセンスを更新するために古いライセンスファイルと新しいライセンスファイルの両方が必要です。

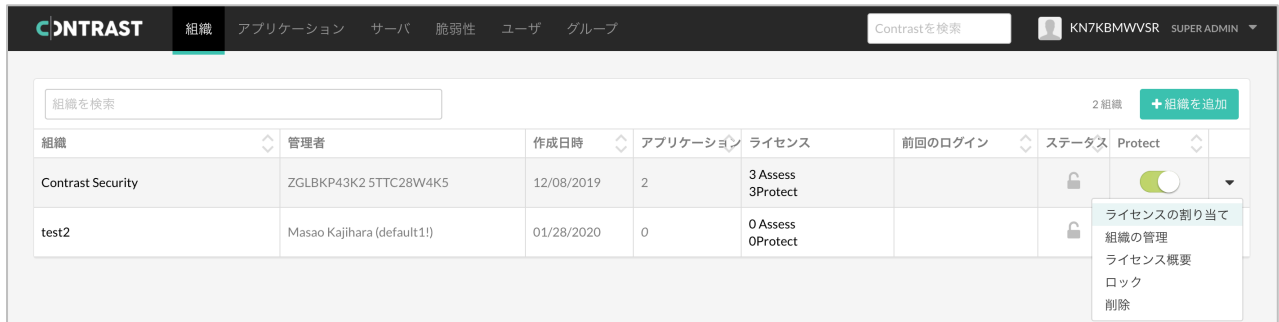
- 新しいライセンスファイルを同じデータディレクトリに置きます。
 - ◆ Linux の場合、新しいライセンスファイルには、このディレクトリ内の他のファイルと同様の所有者、グループおよびパーミッションが与えられていることを確認します(`ls -l` を実行すれば、ディレクトリの内容が所有者とパーミッションの情報を付けて表示されます)。
起動時に新しいライセンスファイルが使用されるタイミングで、現在のライセンスファイルのバックアップとして `contrast.lic.bak` というファイルが作成されます。
◇ 所有者とグループを変更するには以下を実行します：
`sudo chown contrast_service:contrast_service contrast.new.lic`
パーミッションを変更するには以下を実行します：
`sudo chmod 644 contrast.new.lic`
- 通常通り Contrast アプリケーションを起動します。
 - ◆ Windows の場合、サービス画面を使用します。
 - ◆ Linux の場合、`sudo service contrast-server start` を実行する、またはお使いのディストリビューションに合わせて適切なコマンドを実行します。
- 自動的に新しいライセンスが有効になります。

Contrast EOP(エンタープライズオンプレミス)版のライセンスの割り当て

Contrast EOP 版のライセンスファイルを更新したら、組織で新しいライセンスを使用するためには組織にライセンスを割り当てる必要があります。以下の手順で、該当する組織にライセンスの割り当てを行ってください。

ライセンスの割り当て

- スーパー管理者の資格情報で Contrast UI にログインし、**組織**のページを開きます。
- ライセンスを付与したい組織の行でドロップダウンメニューをクリックし、**ライセンスの割り当て**を選択します。



- ライセンスの割り当て**の画面にて、使用可能なライセンスの数と有効期限が表示されます。有効期限が更新した日付であるかを確認します。使用可能なライセンス数から、組織に割り当てる **Assess ライセンス** または **Protect ライセンス**(あるいはその両方)数を入力し、**割り当て**をクリックします。

ライセンスの割り当て ✕

Contrast Security組織にライセンスを割り当てます。

Assessライセンス

3ライセンスのうち3ライセンス使用可能

有効期限

Protectライセンス

3ライセンスのうち0ライセンス使用可能

有効期限